

# 金属プレス技能検定 学科対策研修会



8月6日、高崎市・ニューサンピアにおいて、群馬県金属プレス工業会（淡島信二代表幹事、会員105事業所）の会員企業従業員を対象に、金属プレス技能検定学科対策研修会を開催した。

例年開催している同様の研修会が好評であり、今年度も受講を希望する声が多かったことから本研修会を開催した。講師には、1級技能士の坂上嘉孝氏を招き、検定受験予定者の同会員企業従業員らが出席した。

金属プレス技能検定は、プレス機械による金属薄板の加工に必要な技能を国家資格として認めるもので、合格者には「金属プレス加工技能士」の称号が与えられる。

等級には、1級（上級技能士）及び2級（中級技能士）があるが、今回の研修会は、2級の学科試験合格を目指すもの。

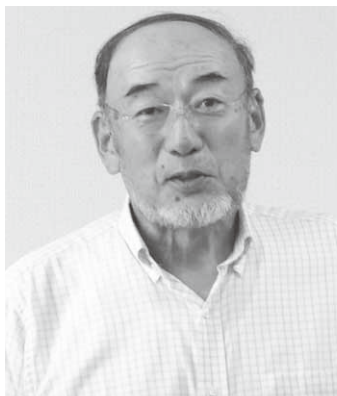
検定試験では、学科、ペーパーテストによる実技、実際にプレス機を使って行う実技が課されるが、今回の研修会では、昨年度同様、前二者について集中的な講義を行った。

講師として登壇した坂上氏は、随時、自身で作成したレジュメを

参照しながら、過去の技能検定試験で出題された「学科試験問題」「実技試験（ペーパーテスト）問題」を用いて、実際の問題を解きながら受講者の理解を促していた。

最後に、技能検定の「学科試験」「実技試験（ペーパーテスト）」は、過去に出題された問題と似た問題が数多く出題されており、過去問を繰り返し解き、復習することが一番の試験対策となると話し、研修会を締めくくった。

本年度の技能検定試験（8月24日実施）を目前に控え、受講者は終始真剣な表情で坂上氏の話に聞き入っていた。



坂上嘉孝氏

## ◎研修会を終えて

試験対策研修会は貴重な機会となっており、今回の研修会で学んだことを活かし、受講者全員に合格してもらいたいです。

# 社会保険未加入問題について再確認



板垣裕司氏

8月8日、前橋市・組合事務所において、群馬県鐵構業協同組合（佐藤良男理事長、組合員61人）を対象に、「社会保険未加入問題」をテーマに講習会を開催した。講師は、（株）板垣労務管理事務所 長板垣裕司氏。

板垣氏はまず、日本の社会保険制度について概要を説明した。次いで、建設業において、「若年労働者の減少に歯止めをかける」「不当に低い請負代金設定を防止する」といった目的で、社会保険加入率をあげるべく対策がとられている旨を解説。既に行われた加入対策として、施工体制台帳に加入状況の記載が必須とされた他、経営事項審査において未加入による減点幅が拡大されたこと等を紹介した。

また、ゼネコンにおいても、下

請企業に対する加入指導義務があるため、加入状況についてチェックしている旨説明。

そして、建設業において問題となっている一人親方について、「一人親方は実態に応じて、個人事業主とみなされる場合も、労働者とみなされる場合も両方ある。この線引きは、①急な仕事を断ることのできるのか、②指揮命令を誰がしているのか、③会社の就業規則等の服務規律を適用しているのかといった様々な要素から総合的に判断している」と解説した。

板垣氏の説明の後、大塚孝副理事長より全国鐵構業協会が作成した統一見積様式について説明があった。

最後に全体を通した質疑応答の時間が設けられた。参加者は具体的な事例を交え、時間いっぱい熱心に質問を続けていた。

## ◎研修を終えて

社会保険について、「複雑でわかりづらい点も多い」という声が聞かれました。国土交通省では既に、建設業者向けに具体的な対策を開始しています。一度社会保険について再確認をしておく重要性を感じました。